



# NEWS RELEASE

2021年10月27日

東ソー株式会社

## 「Semba Biosciences, Inc.」を完全子会社化 ～バイオ医薬品の連続生産ソリューションの拡大～

東ソーは、バイオサイエンス事業の強化・拡大の一環として、米国Semba Biosciences, Inc. (以下、Semba社)の株式を追加で取得し、完全子会社としましたのでお知らせいたします。また、これに伴い、Semba社の社名をTosoh Bioscience Wisconsin, Inc.に変更しております。なお、本完全子会社化は当社の米国子会社Tosoh Bioscience LLC社(本社：米国ペンシルベニア州、出資比率：100%)を通じて行っております。

バイオ医薬品の市場は、抗体医薬品、遺伝子治療薬、COVID-19ワクチン等の需要増大を背景に、今後も高い成長が見込まれております。バイオ医薬品の製造では液体クロマトグラフィー技術が一般的に利用されていますが、従来のバッチ方式と比べて需要変動に対する柔軟性に優れ、かつ医薬品製造コストの低減に有効な新手法として連続クロマトグラフィー<sup>(※1)</sup>方式が注目されております。

Semba社は、2009年に世界初の卓上タイプの連続クロマトグラフィー装置Octave<sup>®</sup><sup>(※2)</sup>を上市した、クロマトグラフィー装置の製造・販売会社です。当社は2018年にSemba社へ出資し、医薬品の製造管理及び品質管理の基準(GMP)に準拠した連続クロマトグラフィー装置ProGMP<sup>TM</sup>の開発など、ラインアップ拡充をSemba社と協同で進めてまいりました。

当社は、今回の完全子会社化によりSemba社とより緊密な一体運営を行い、連続クロマトグラフィー事業の更なる拡大を狙うと共に、液体クロマトグラフィー用分離剤(トヨパール<sup>®</sup>)およびカラム(Skill Pak<sup>TM</sup>)事業とのシナジー創出を推進してまいります。急拡大が進むバイオ医薬品市場に先進的な製品を提供するため、今後も分離精製事業のグローバルな基盤強化を積極的に進めて行く計画です。

当社は、今後も既存事業の強化や周辺・新規領域への展開を通して、バイオ医薬品精製のトータル・ソリューション・プロバイダーを目指してまいります。

### 【Tosoh Bioscience Wisconsin, Inc. 社(旧Semba社)の概要】

設立：2005年5月

出資比率：当社グループ100%

所在地：米国ウィスコンシン州マディソン

事業内容：クロマトグラフィー装置およびバイオ関連試薬の製造・販売

#### ※1：連続クロマトグラフィー

複数のカラムを組み合わせて、試料・溶離液・洗浄液等の流れをバルブ操作で自動制御することにより、吸着・溶出・カラム洗浄等のプロセスを並行して連続的に行う液体クロマトグラフィー手法。

※2：Octaveは、Semba社の米国等における登録商標です。

以上